

# 美ら島とともに

## Sustainability Report 2022



沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

# 私たちの企業理念 ワシタ チム グクル

## 経営理念

お客様に満足を  
地域社会と共に歩む  
働きがいのある会社に

## 社 是

誠を尽くす

## 行動規範

さわやかな挨拶をしよう。  
円滑なコミュニケーションをしよう。  
自己啓発をしよう。  
積極的にチャレンジしよう。  
問題意識を持って行動しよう。  
変化に素早く対応しよう。  
感謝の心で接しよう。

## 環 境 理 念

沖縄コカ・コーラボトリングは、コカ・コーラシステムの環境方針に従い、コカ・コーラシステム各社とともに、地球規模の環境保全の重要性を認識し、地域における環境の継続的な改善を推進します。

## 環 境 方 針

沖縄コカ・コーラボトリングは、当社の事業活動が環境に与える影響を理解し、持続可能な社会を目指すため、環境マネジメントシステムを導入し、全従業員参加のもとに以下の施策を中心に取り組みを行い、環境目的・目標を設定するとともに、定期的な見直しを図ります。

- 当社に適用される環境関連法規制及び関連する会社と交わした協定、約束について厳守します。
- 沖縄県において、持続可能な地域社会の構築を目指します。
- 当社の日々の活動で発生する環境負荷を低減するような活動に取り組みます。
- この方針を当社で働く全従業員に周知し、継続して事業を展開する地域社会の経済発展を促進する取り組みを行います。

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

## Sustainability Report 2022



美ら島のために、美ら島とともに  
それが沖縄コカ・コーラボトリングの想いです。

## CONTENTS

- P2 経営方針、環境理念、環境方針
- P3 目次
- P4 トップメッセージ
- P5 ～P12 コカ・コーラシステムの取り組み
- P13 コカ・コーラシステムのビジネス基盤
- P14～P15 沖縄コカ・コーラ社のサステナビリティ活動方針、サマリ
- P16～P19 活動 ～水資源保護活動の推進
- P20～P25 地域社会 ～サステナブルな地域づくりに貢献
- P26～P28 経済 ～地域を盛り上げる
- P28～P30 会社概要

### 編集方針について

本レポートはこれまで取り組んだ内容や活動結果から主要なものを報告しています。コカ・コーラシステムが、世界的に推進する活動や日本国内で行っている活動を紹介するとともに、当社の取り組みを掲載し、持続可能な活動に繋げることを目的に発行しています。

### 対象期間・対象範囲

期間：2021年1月 ～ 2022年6月  
範囲：沖縄コカ・コーラボトリング株式会社、グループ会社

## トップ メッセージ

### 「ワシタ チム グクル」の精神で地元根差し

### 皆さまに信頼され 親しまれて 成長する企業を目指します



弊社は1968年設立以来、県民の皆さまをはじめ、来県されます皆さまに清涼飲料を通して「憩いのひととき」をお届けして参りました。沖縄県は今年、復帰50周年を迎え、弊社の歴史も沖縄県の変貌とともに移り変わってきたことを感じております。

社会情勢においては、昨今のコロナ禍や、世界規模で発生している自然災害、地球温暖化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、事業活動においても大きな影響を受けています。このような予測不能な環境においても県内企業として成長し、使命を果たしていくために、中長期的な視点でリスクを成長の機会と捉え、昨年浦添工場での設備投資を行い、県内初となる無菌充填製造ラインが稼働いたしました。稼働に至るまでは、多くの県内外の企業のみなさまのご協力・ご支援をいただきましたことに大変感謝申し上げますとともに、改めて御礼申し上げます。

今後、浦添工場での製造量を拡大させ、県経済への波及効果につなげていけるよう取り組んで参ります。

事業活動においては、持続可能な開発目標「SDGs」を指標に、従業員一人ひとりが当社で働きがいと誇りを持つ職場環境の実現に取り組むとともに、「安全・安心な製品」を提供することはもちろんのこと、清涼飲料水を通して、パートナーのみなさまと連携を図り、企業市民としての役割と責任を果たしたいと考えております。

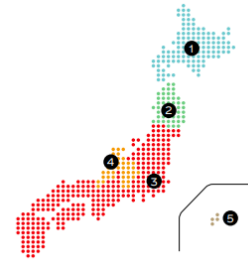
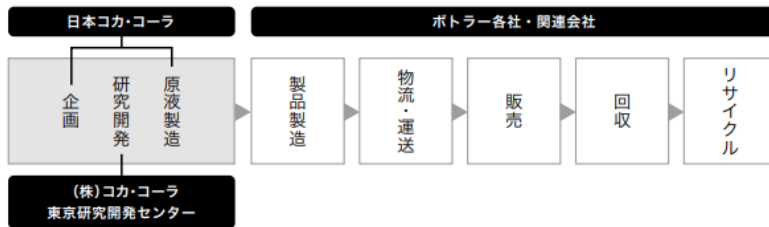
沖縄コカ・コーラグループ一体となって、持続可能な社会の実現と、今後も成長を続けることを通して、県民の皆様はじめ、沖縄コカ・コーラに関わるすべての方々に認められる、良い会社、強い会社を目指して参ります。

代表取締役社長 小山 良彦

# コカ・コーラシステムの構成

日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給と製品の企画開発や広告などのマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売を行う5つのボトラー会社および関連会社で構成されています。

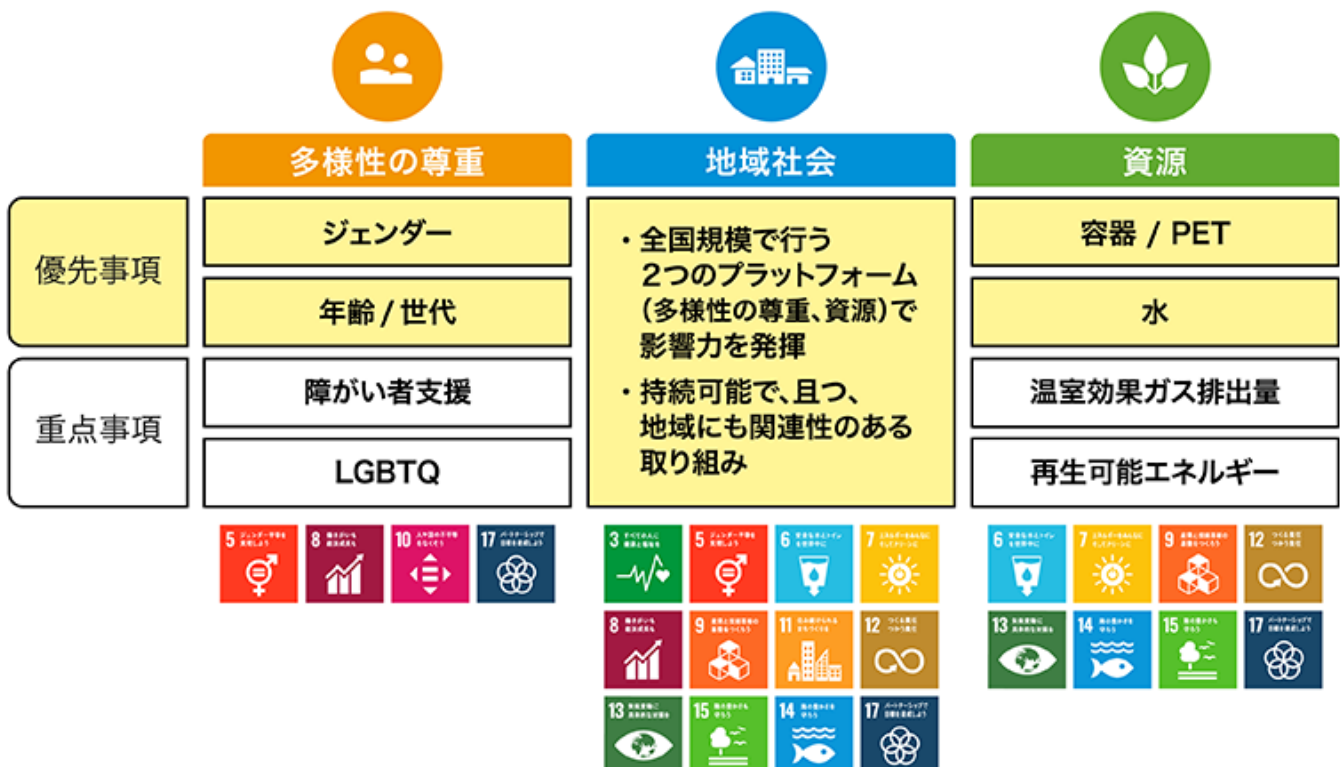
## 日本のコカ・コーラシステム



- ① 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- ② みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
- ③ コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
- ④ 北陸コカ・コーラボトリング株式会社
- ⑤ 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

## 日本のコカ・コーラシステムによるサステナビリティへの取り組みについて

日本コカ・コーラとコカ・コーラ ボトラーズジャパンは2019年、サステナビリティのグローバル目標達成に加えて、日本独自の課題をベースにした戦略を立案し、コカ・コーラシステム共通のアクションプランへ落とし込むことを目的に、サステナビリティの課題抽出と優先順位の特定のための大規模な共同調査を行いました。その結果、「多様性の尊重 (Inclusion)」「地域社会 (Communities)」「資源 (Resources)」の3つのプラットフォームと直近に取り組むべき9つの重点課題が合意されました。



# コカ・コーラシステムの取り組み



## World Without Waste (廃棄物ゼロ社会) - 容器の2030年ビジョン -

日本のコカ・コーラシステムは、グローバルビジョン「World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)」に基づき「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる活動に取り組み、容器由来の廃棄物削減と、日本国内におけるプラスチック資源の循環利用の促進に貢献しています。

「ボトルtoボトル (水平リサイクル)」「ラベルレス・パッケージレス」「容器の軽量化」を推進し、2025年までにすべてのPETボトル製品にサステナブル素材※を使用し、2030年までにすべてのPETボトルを100%サステナブル素材へ切り替えることなどを目指しています。

※サステナブル素材：ボトルtoボトルによるリサイクルPET素材と、植物由来PET素材の合計

### 日本のコカ・コーラシステム「容器の2030年ビジョン」(ロードマップ/実績)



※サステナブル素材：ボトルtoボトルによるリサイクルPET素材と、植物由来PET素材の合計 ※「回収」の取組詳細はP.12へ ※「パートナー」の取組詳細はP.13へ



### 「リサイクルしてね」ロゴを約50%の製品に導入

コカ・コーラシステムではプラスチック循環型社会の実現に向けた啓発活動の一環として、2021年より、すべてのリサイクル可能な製品パッケージに共通の「リサイクルしてね」ロゴの導入を進めています。2022年2月時点で販売中の製品の約50%に「リサイクルしてね」ロゴの導入を完了し、さらに順次拡大中です。「リサイクルしてね」ロゴは、製品パッケージのみならず、広告物やPOP、リサイクルボックス等にも使用し、消費者のみならず、コミュニケーションを強化しています。



# 水資源への取り組み

## 水資源 | 水の保全と管理

水は、私たちの製品の多くに含まれる最初の成分であると同時に、私たちの事業の持続可能性や地域社会の衛生にとっても中心的な役割を担うものです。2021年3月、コカ・コーラは2030年に向けた新たな水資源保全戦略のグローバルフレームワークを発表しました。新たな戦略においては、地域の水源涵養、より厳格なポリシーの提唱、事業と地域社会における責任ある水の利用などを通じ、持続可能な水資源の保全に力点を置いています。従来、コカ・コーラは「製造時に使用する水の100%涵養」を目標に水資源保護に取り組んできましたが、この目標はグローバルでは2015年に達成し、また2019年時点では2010年比で水使用効率が18%向上しています。これを受け、ザ コカ・コーラ カンパニーのジェームズ・クインシー会長兼最高経営責任者は、「これらは素晴らしい成果ではありますが、もっと推し進める必要があります。すべてのバリューチェーンに目を向け、個々の生産拠点での涵養率100%達成を目指し、温暖化の影響により洪水や干ばつが起り始めている流域の地域社会を支援するなど、人々と生態系により大きな影響を与えることに焦点を移しています」と述べています。

日本のコカ・コーラシステムは長年、  
3つの側面で水資源保護を推進しています

### Reduce | 工場における水使用量の削減

コカ・コーラシステムの工場では、コカ・コーラシステム独自のマネジメントシステム「KORE (コア ※)」の品質基準を順守しながら、製造時の水の効率的な利用を進めています。2020年の製品1Lを製造する際の水使用量は3.43Lとなり、2013年と比較して1.21Lの削減となりました。

### Recycle | 工場における排水管理

コカ・コーラシステムの工場では、容器や設備の洗浄水、冷却水などの排水を適正に処理して、下水道や河川に放流しています。

排水は微生物を使った「活性汚泥法」などによって浄化し、水質汚濁防止法などの国内法で定められた水質基準と「KORE」の基準を照らし合わせ、より厳しい方の基準によって管理しています。

### Replenish | 地域の水源の調査と保護

コカ・コーラシステムでは、専門機関の協力のもと、工場の水源を科学的な調査を通じて特定し、水源の脆弱性を評価したのち水源保護計画を策定、災害対策や工場水源での涵養活動を実施しています。

## Our Global Vision | グローバルビジョン

当社が事業を展開し、原料を調達し、人々の生活に寄り添っている地域において、  
ビジネス、人々、そして自然のために、水の安全性を高めます。

Availability  
利用可能性

Quality  
水質

Ecosystems  
生態系

Access  
アクセス

Governance  
ガバナンス



### Regenerative Operation

再生可能なオペレーション  
地域の水資源問題の緩和



### Healthy Watersheds

流域の健全性  
流域環境の改善と持続可能なサプライチェーン



### Resilient Communities

地域社会のレジリエンス  
地域社会に重点を置いた水環境の強靭化

## Global Goals | グローバル目標

- リーダーシップロケーションにおける100%再生水使用
- 水資源問題を抱える地域における水使用効率の改善推進
- コカ・コーラグローバルウォーターサステナビリティ要求事項の順守
- 優先事業流域における流域管理計画の実施
- 優先調達流域における100%の水持続可能性を維持する原料調達
- 職場、サプライチェーン、当社が事業・販売・調達を行う地域社会における水と衛生設備へのアクセスの提供
- 地域社会が気候変動の影響に適応するための支援
- 水へのアクセスを通じて地域社会が危機的状況から迅速に回復するための支援

脆弱な水域における水使用量と同等量の水資源涵養  
(地域の再生、流域の水資源涵養、地域社会のレジリエンス)

## Priority Levers for Change | 変化のための優先施策

- 優れた水ガバナンスの提唱
- システム一丸となった活動と科学的視点の拡充
- 有益な報告および情報開示

## 水資源 | 日本における水資源保護と水源涵養

日本のコカ・コーラシステムは、各工場の水源地とその流域において、製品を製造する際に使用した水と同等量以上の水を自然に還元する取り組み(涵養)を、2010年より開始し、2016年に国内での100%以上の涵養を達成しています。2021年、国内の水源地涵養率はシステム全体で355%に達しました。また全国21工場（日本コカ・コーラ守山工場を除く）、19の流域のうち18の流域において100%以上の水源地涵養率を達成し、すべての流域において涵養活動をスタートしました。引き続き、すべての工場の水源地と流域における100%以上の水源地涵養率を目指し、地域ごとの実情に合わせた多様な手法で涵養活動を強化します。



### 「い・ろ・は・すの森活」プロジェクト

「い・ろ・は・すの森活」プロジェクトは、天然水ブランド「い・ろ・は・す」の売り上げの一部を、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団を通じ、森林保全活動に取り組む自治体・森林組合・NPOなどに寄付することで、水資源保護を推進するプロジェクトです。2021年度は51カスター・2,651店舗にご参加いただき、全国22団体に対して寄付を実施。総、060.58ha、約18,000本の植林活動（ともに2021年9月末時点）を支援しました。

### 森に学ぼうプロジェクト

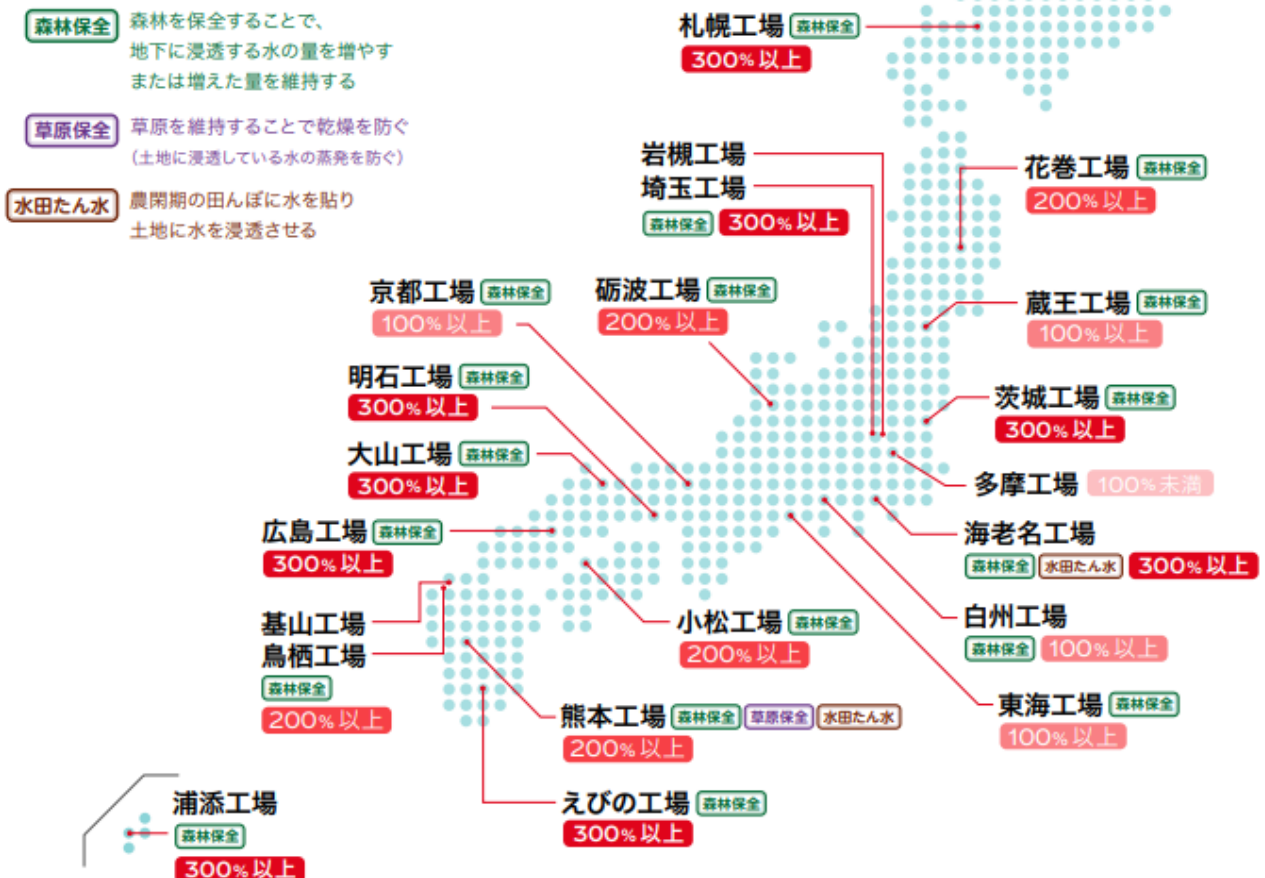
コカ・コーラ ボトラーズジャパンでは、製造工場の水源地12カ所で地域のみなさまと社員が水資源保護活動を行い、植林や間伐体験、田植えや稲刈り体験、木工体験などを通してかけがえない水の大切さを学んでいます。北海道社コカ・コーラボトリング、みちのくコカ・コーラボトリング、沖縄コカ・コーラボトリングでも工場で使用している水の水源地涵養に取り組んでいます。

### 森と水の支援活動

沖縄コカ・コーラボトリングでは、2021年7月「ユネスコ世界自然遺産」に登録された沖縄本島本島北部やんばるの水源地（ダム）近隣で、行政・自治体・地域ボランティアのみなさまと植樹・育樹活動を継続して行っています。また、首里城公園友の会の「イヌマキ育樹祭」も支援しています。

水源涵養率 **355%**

※日本国内にある各工場の生産量をベースに算出。



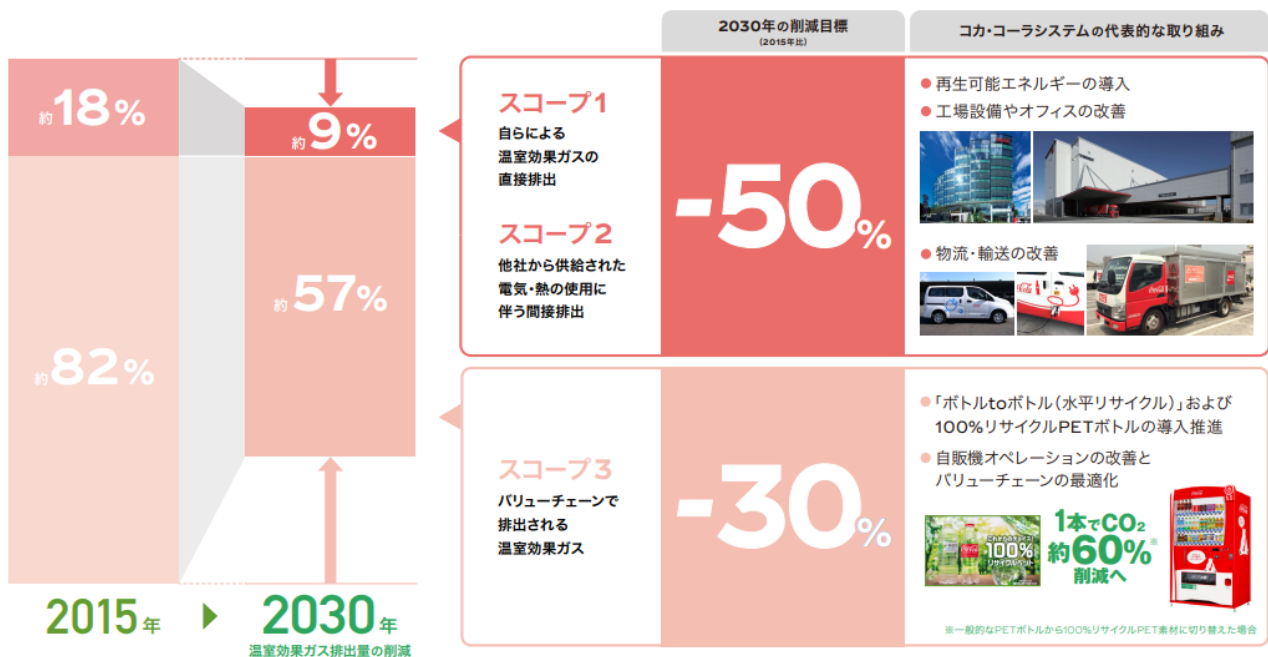
※工場流域ごとの涵養率は、各工場の製造量をベースに算出。



# 2030年までに達成する温室効果ガス排出量の削減目標

日本のコカ・コーラシステムでは2021年10月、新たな温室効果ガス（GHG）削減目標を策定し、その達成に向けた取り組みをスタートしています。スコープ1、2では再生可能エネルギーの導入や工場設備の改善、物流・輸送の効率化などを通じ、2030年までにGHG排出量を2015年比で50%削減することを目指します。またスコープ3においては、従来の原油由来のPETボトルと比較して約60%CO<sub>2</sub>の排出量削減につながる100%リサイクルPETボトルの導入に加え、省エネ性能の高い自動販売機への切り替え推進、バリューチェーンの最適化などを通じ、2030年までに2015年比で30%の排出量削減を目指しています。

## 日本のコカ・コーラシステムの温室効果ガス(GHG)削減目標 (2021年10月発表)

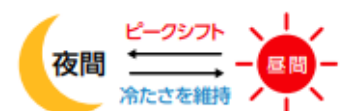


## 省エネ型自動販売機への切り替え推進によりGHG排出量半減へ

日本国内に約88万台設置されているコカ・コーラシステムの自動販売機は、「いつでも、どこでも、誰にでも、おいしい飲料を手にすることができる」という利便性のみならず、災害時などには電光掲示板で災害情報を伝えたり、遠隔操作で製品の無償提供を可能にするなど、自動販売機ならではの支援機能を通じて地域社会に貢献しています。コカ・コーラシステムではこれまでも継続的に自動販売機、クーラー、ディスペンサー等の消費電力削減に向けた機材の開発・導入を進めています。現在、日本国内のコカ・コーラシステムの自動販売機のうち約85%が省エネ型（ヒートポンプ式自動販売機またはピークシフト自動販売機）へ切り替わっています。これにより、システム全体での自動販売機に関連するGHG排出量は2015年比で約50%削減されています。



節電してるのに冷たい!



夜間電力で全製品を冷却 冷却電源を使わず 昼の分まで冷やしておく 運転の待機電力のみ

日中の消費電力 95%削減

# サステイナブルな地域社会づくりに貢献

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における サステナビリティの取り組み

2021年に開催された東京2020大会では、持続可能性コンセプトとして「Be better, together/より良い未来へ、ともに進もう。」が掲げられました。

日本のコカ・コーラシステムもその趣旨に賛同し、大会組織委員会やその他団体との協業を通じ、システムのサステナビリティ戦略の注力分野である資源(Resources)、多様性の尊重(Inclusion)、地域社会(Communities)の3つのプラットフォーム(P.5参照)において、持続可能社会の実現に向けた課題解決のモデルを国内外に示すべく、さまざまな取り組みを実施しました。



100%リサイクルPETボトルによる飲料の提供、  
回収された容器はコカ・コーラ社製品としてリサイクル

世界でも際立つ日本のPETボトル回収率、リサイクル率を背景に東京2020大会では、オリンピック史上初めて、100%リサイクルPETボトルでの飲料の提供・販売が行われました。

競技会場などで排出された使用済みPETボトルは回収・リサイクルされ、コカ・コーラ社製品の容器の原材料として用いられました。

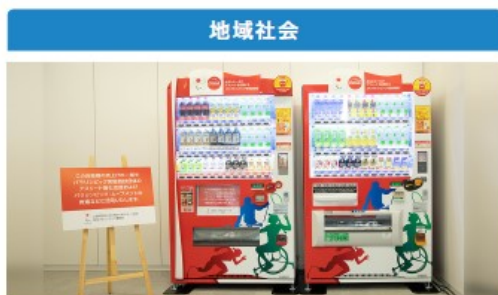
またオリンピック聖火ランナーのユニフォームには、原材料の一部としてコカ・コーラ社内で回収したPETボトルをリサイクルした繊維が使用されました。

コカ・コーラ社では、世界各国・地域の名前を掲げて、選手団を先導し、多様性を発信する役割を担う「プラカードベアラー」を募集しました。これは、世界中の選手団が一堂に会し、あふれる個性が集まる開会式は、多様性の素晴らしさにあふれた場所であることに着目した取り組みです。

コカ・コーラ社は、全国から選出されたプラカードベアラー計81名に対して特別なホスピタリティプログラムを提供。参加者は、事前のワークショップと、開会式への参加を通じ、グローバルな視座からダイバーシティ&インクルージョンへの理解をさらに深めました。



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開会式  
プラカードベアラーで多様性への理解を促進



JOCオリンピック支援自販機  
JPCパラリンピック支援自販機

公益財団法人 日本オリンピック委員会 (JOC) と日本コカ・コーラは、「JOCオリンピック支援自販機」を設置し、売り上げの一部をコカ・コーラ社よりJOCに寄付しています。

また、公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会 (JPC) と日本コカ・コーラは、「JPCパラリンピック支援自販機※」を設置し、売り上げの一部をコカ・コーラ社よりJPCに寄付しました。2021年12月時点で「JOCオリンピック支援自販機」の設置台数は3,669台、「JPCパラリンピック支援自販機」の設置台数は53台、累計寄付金額は160,252,939円に到達しました。

※現在、本プログラムは終了しています。

# コカ・コーラシステムのビジネス基盤 | マネジメントシステム「KORE」

コカ・コーラ社製品を手にするすべてのお客様の健やかな生活への貢献は、いつの時代も安全でおいしい清涼飲料製品をお届けすることに努めてきたコカ・コーラシステムの基本的な 価値観です。ザ コカ・コーラ カンパニーは世界共通の品質とオペレーション管理を行うシステム「Coca-Cola Operating Requirements」、通称「KORE（コア）」によって、製品の安全と安心を守っており、日本のコカ・コーラシステムでもこれを順守しています。

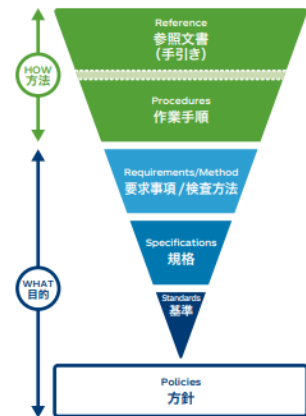
「KORE」は、国内法令よりもさらに厳しい基準で、原材料の調達から製造、物流・輸送、販売の各過程で、規格やルール、作業手順を定めており、各工場で「KORE」を運用すると同時に、定期的な監査も行っています。



## 「KORE」のマネジメントシステムフレームワーク

「KORE」は、ISOや各種法令の要求事項を満たしつつ、さらに厳しい基準を課した独自のマネジメントシステムです。

「品質」「食品安全」「環境」「労働安全衛生」について、「方針」「基準」「規格」「要求事項/検査方法」「作業手順」「参照文書(手引き)」で構成されています。



# コカ・コーラシステムのビジネス基盤 | サプライチェーン 調達

## 持続可能な農業のための原則 「PSA」を通じた農産物の責任ある調達

コカ・コーラは、より倫理的で持続可能な調達に取り組むため、2021年より新たな独自の調達基準「PSA（Principles for Sustainable Agriculture、持続可能な農業のための原則）」の導入と運用を開始しています。PSAは従来のSAGP（Sustainable Agriculture Guiding Principles）を引き継ぐもので、環境、社会、経済など観点に基づく持続可能な農業に対するザ コカ・コーラ カンパニーの基本原則 を著したものです。食品安全衛生や法令順守、環境と生態系への影響を最小限にとどめるための努力、廃棄物の管理、記録の維持、サプライヤー基本原則に基づく労働者の権利の尊重などが含まれます。PSAは一次生産レベル（農場など）を対象とし、農産物の製造過程におけるコンプライアンス、透明性、継続的改善を達成するための基礎となるものです。また持続可能な農業の実践を推進にあたり業界団体などと協力する際の指針ともなります。コカ・コーラ社のサプライヤーには、PSAとサプライヤー基本原則の 順守とその実証が期待されます。



「綾鷹」ブランドを含むすべての緑茶はPSAの対象です



PSA基準を満たした農園

## ダイバーシティ&インクルージョンを推進

コカ・コーラ社は、ダイバーシティ&インクルージョンを経営戦略における優先事項のひとつと位置付けています。多様な社員がそれぞれの能力を十分に発揮できる職場環境の実現に向けて、ダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを今後さらに推進していきます。

日本のコカ・コーラシステムでは、「ジェンダー」「年齢/世代」を優先事項、「障がい者支援」「LGBTQ」を重点事項として注力しています。



### ジェンダー

#### 国際女性デー

3月8日は国連が定めた「国際女性デー」です。女性の権利と政治的、経済的分野への参加を盛り立てるために、1975年に制定されました。日本コカ・コーラでは、女性の権利や女性活躍に向けた意識向上のため、この国際女性デーの日に毎年社内イベントを行っています。

### 年齢 / 世代

#### ミレニアル・ボイス・ジャパン (MVJ)

「ミレニアル・ボイス・ジャパン (MVJ)」は、日本コカ・コーラのミレニアル世代の有志社員が集まり、会社をよりよくするための取り組みを経営陣に提案するためのプロジェクトです。日本コカ・コーラは、特定非営利活動法人東京レインボープライドが主催する、アジア最大級のLGBTQ関連イベント「“性”と“生”の多様性」を祝福する祭典「東京レインボープライド2022」に協賛し、2022年4月に開催された「プライドフェスティバル」にブースを出展しました。特製レインボーデザイン「コカ・コーラ」ラベルや「Coke ON」チケットをプレゼントし、コカ・コーラシステムのLGBTQに関する取り組みをインフォメーションボードで紹介しました。



### LGBTQ

#### 日本のコカ・コーラシステム6社で同性パートナーに配慮した就業規則・福利厚生を整備

日本のコカ・コーラシステム全6社は2021年5月までに、同性パートナー※にも対応した福利厚生および就業規則の整備を完了しました。

各社では現在、従業員およびその同性パートナーを法的婚姻関係にある配偶者と同等に扱い、慶弔休暇や特別休暇を取得できるよう制度を導入・運用しています。

コカ・コーラシステムでは、2020年11月から日本国内における同性婚の法制化（婚姻の平等）に賛同する企業を可視化するキャンペーン「Business for Marriage Equality (BME) ※」への賛同を表明しました。



# 沖縄コカ・コーラの活動

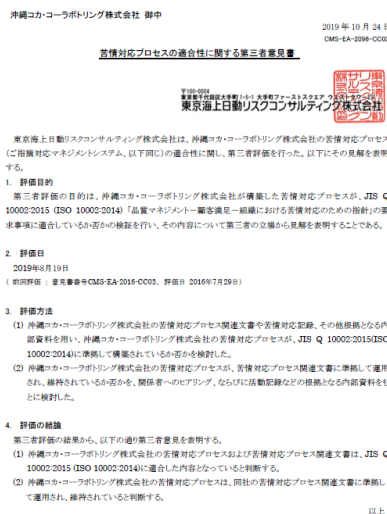
## お客様満足のための基本方針

私たち沖縄コカ・コーラボトリング株式会社は、あらゆる企業活動を通して、地域の皆様に「爽やかさと潤い」をお届けしたいと考えています。

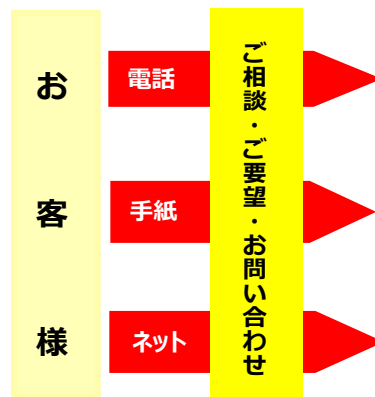
お客様とのふれあいを大切に、安全で安心できる製品、サービスを提供するとともに、お客様の声を積極的に企業活動に活かし、行動指針に基づきお客様から信頼される企業を目指してまいります。

## 行動指針

- お客様からの声を真摯に受け止め、迅速且つ適切に誠意を持って対応します。
- お客様からのご指摘・ご要望を重要なコミュニケーションの機会ととらえ、正確な情報収集と積極的な情報提供を行います。
- お客様とのコミュニケーションを大切に、お客様の声を積極的に企業活動に活かし、コカ・コーラファンになって頂ける企業を目指します。
- お客様からのご意見は貴重なものとして社内で共有し、製品・サービスの向上に反映させます。
- お客様の権利を保護するため、関連する法規及び社内の自主基準を遵守いたします。



## お客様対応フロー図



<https://j.cocacola.co.jp/info/>

## ● 製品、マーケティングの お問い合わせ

〒150-0002  
東京都渋谷区渋谷4-6-3  
日本コカ・コーラ(株)  
お客様相談室



沖縄コカ・コーラ  
ボトリング(株)

## 安心安全な製品をお届けするために

ISO国際規格の品質、食品安全、労働安全、環境の4側面の取得および苦情対応の自己適合宣言をしました。ISO国際規格よりもさらに厳しい、コカ・コーラ世界共通の要求事項「KORE」に沿って、事業活動を行っています。

- ISO9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
- FSSC22000 (食品安全マネジメントシステム) 認証取得
- ISO45001 (労働安全衛生マネジメントシステム) 認証取得
- ISO14001 (環境マネジメントシステム) 認証取得
- ISO10002 (苦情対応マネジメントシステム) 自己適合宣言



# サステナビリティ活動方針

～ 持続可能な目標にチャレンジします！～

- 安心安全な製品を提供する事で、うるおいのある社会づくりに貢献します。
- 環境保全活動などのサステナビリティ活動を積極的に行う企業風土を育てます。
- 事業活動を通して、持続可能な地域社会貢献活動を推進します。
- SDGsの活動と連動したサステナビリティ活動の指標、および目標達成に  
取り組んでいきます。

サステナビリティ活動の3つの領域「環境」「地域社会」「地域経済」において、SDGsの目標を達成するため、当社を取り巻く地域の人々とのパートナーシップを大切に、地域・社会の課題解決に貢献します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 環境

持続可能な地域環境を次世代へ

世界有数の自然に育まれた沖縄の価値ある自然を次世代へ。

- 浦添工場での廃熱再利用によるCO<sub>2</sub>削減、エネルギーの効率的利用の推進
- 自社製造量の拡大により、他府県からの仕入れ輸送時に発生するCO<sub>2</sub>排出量削減
- 「容器の2030コカ・コーポレーション」宣言
  - ・リサイクルペット再生樹脂容器、及び植物由来樹脂などの持続可能な飲料容器の使用拡大
  - ・販売した自社製品と同等量の容器回収を目指し、容器回収サイクルの地域的な枠組みの構築
- 沖縄本島北部地域における環境保護活動の展開
  - ・国頭村との生物多様性保護協働活動として、自販機の売上金の一部を「NPO法人どうぶつたちの病院沖縄」への寄付を継続
  - ・国頭村と水源保護活動協定を締結し、水源涵養を推進。また、国頭村及び大宜味村との共催でコカ・コーラ「森に学ぼう」植樹・育樹活動を現在も継続
- 首里城公園友の会イヌマキ育樹祭への参加と「いろ・は・す」売上金の一部をイヌマキ育樹祭へ寄付



# 地域社会

地域に根差した活動

当社が行っている様々な活動を通して、多様性への取組みや地域のニーズに応える活動に取り組んでいます。

- 海岸清掃等の地域環境活動の実施
- 社内規程を整備し「多様性を尊重」する職場環境づくり、および女性活躍の機会創出
- 沖縄工業高等専門学校との産学連携及び先端技術開発による能力開発
- インターンシップの受入による就業支援、就労施設との業務提携による就労支援
- 自治体との災害物資協定や、災害支援型自販機による飲料水の無償提供など
- 各種イベントへの協賛、及び支援型自販機による地域活性化を目指した支援活動や、子ども食堂などへの製品寄贈による地域づくり
- 1966年より返済義務のない奨学支援事業を継続。更に環境教育支援事業として、県内の学校や団体の環境活動を助成・支援するコカ・コーラ環境教育賞の懸賞活動を1994年より継続



# 経済

県内製造数量の拡大による県内経済への貢献、働きやすい職場環境づくり

高品質で安心安全な製品の提供による健康でうるおいのあるライフスタイルへの貢献。

- 2021年県内初の無菌充填設備稼働による自社製造製品の拡大で、県内企業からの資材購入増加による地場産業への経済的な相乗効果の推進
- ライフスタイルの変化に合わせたコークオン自販機の拡大
- 「多様性」を尊重する職場環境作り、女性活躍の機会創出、ワークライフバランスの取り組み
- 品質を守る独自の基準「KORE」でオペレーションを管理
- ISO14001など国際規格の遵守
- お客様とのコミュニケーション(お客様対応：ISO10002適合宣言)



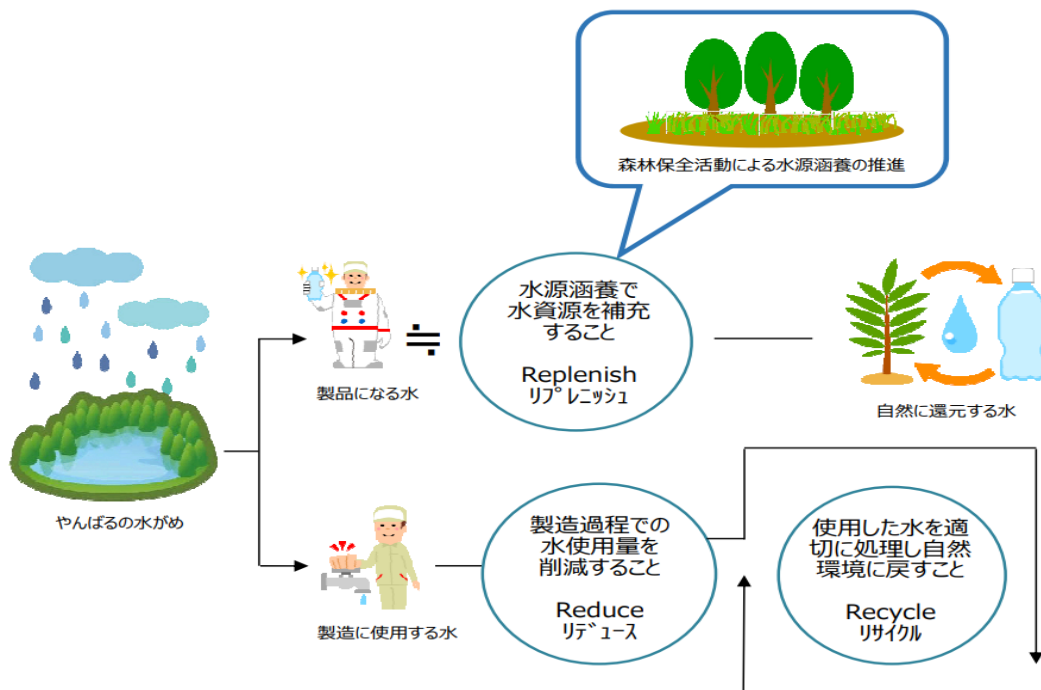
# 環境



## 沖縄の大切な水資源を未来へ

### 水資源保護活動の推進

県内の水源を活用し、製品に使用した量と同等の水を自然に還元する取り組みを進めています。



### リデュース (Reduce)

製造過程での水使用量の削減

「製造に使用する水」である洗浄水は、EB殺菌システムを導入し使用量を削減しています。



### リプレニッシュ (Replenish)

地域の水資源涵養

全国的な取り組み「森に学ぼう」の一環として、やんばるのダム近隣にて水源保護活動を行っています。



### リサイクル (Recycle)

製造過程で使用する水の循環

「製造に使用する水」の冷却水の一部は、「ろ過」を行い、再利用を行っています。





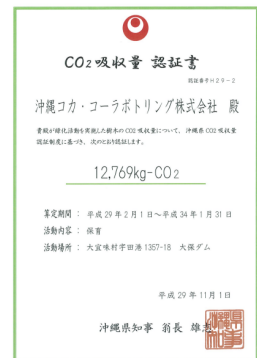
# 「森」と「水」の大切さを学ぶ

## コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト

当社は2006年より沖縄本島最大の水資源である本島北部やんばるのダム近隣で、行政・自治体・地域ボランティアの皆さんと一緒に継続して植樹・育樹活動を通じて水源涵養を行なっています。

あわせて、水の源である森林について「知る」、森林の大切さを「学ぶ」、植樹・育樹を通して「体験する」ことで、自然の大切さを次世代へつなぐ環境教育活動の機会創出に取り組んでいます。

植樹・育樹活動はCO<sub>2</sub>吸収に繋がり、結果的にCO<sub>2</sub>の排出量の削減に繋がっています。（平成29年に沖縄県より認証を受けています。）



新型コロナで規模を縮小しつつも継続的に開催しています。

## 「首里城公園友の会」イヌマキ育樹祭を応援！

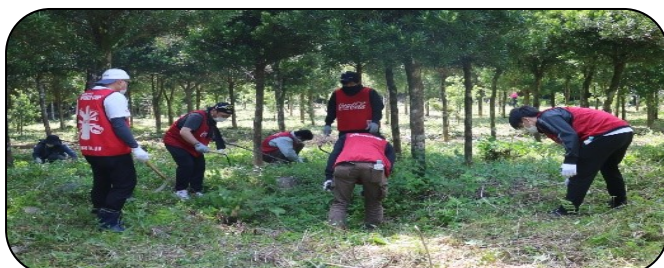
「首里城公園友の会」は首里城修復の際に、沖縄で育てたイヌマキを使ってほしいとの願いで1993年に育樹を行い、その後、年2回育樹活動を行っています。当社はその趣旨に賛同し、2017年より、沖縄の歴史と文化を象徴する首里城の未来に想いをこめて、社員および社員家族で参加しています。



2021年11月



2022年3月



作業風景



作業風景

# 「い・ろ・は・す」水資源保全プロジェクト

～首里城公園友の会様を支援～

「い・ろ・は・す」の売上金の一部は、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団を通じて、日本の各地で水資源保全活動を行っている団体に寄付され、その活動を支援しています。

当社では、「首里城公園友の会」様の「イヌマキ育樹祭」を支援しています。



首里城公園友の会



## 苦難を乗り越えて

2019年10月31日未明の火災で、正殿を始めとする首里城の中心的な建物群が失われました。30年ほどの歳月をかけて、その年の2月に、復元事業を終えたばかりでした。

30年も前から復元に関係してきた私は、すぐに現場を見る勇気がありませんでした。1週間経った頃に、意を決し、焼失した首里城に足を運びました。痛々しい光景でした。研究者や専門家、行政マン、土木・建築工事関係者など、多くの人びとが心血を注いできた成果が、大ダメージを受けていたのです。

数日後、車を飛ばして国頭村の辺野喜(べのき)に向かい、山中で育ててきたイヌマキ(方言:チャーギ)たちに逢いに行きました。正殿や北殿、南殿などが完成した後に、将来の大修理に備えて、沖縄の土で育ったイヌマキが活用できるよう、首里城公園友の会が植樹し、育ててきたイヌマキの森なのです。

でも、植えてからまだ20年余りしか経っておらず、人間でいえば幼少期です。一人前になるためには、100年ほどの歳月が必要なのです。イヌマキたちに向かって、「まだ、皆さんの順番ではありません。首里城は再び復元されるので、その後の将来の大修理のために、ゆっくり、確実に育ててください」、と呼びかけました。

焼失した正殿を再び復元するために、今回も本土の、長崎県の山中で育つイヌマキを使用させていただくことになっています。

「い・ろ・は・す」水資源保全プロジェクトのご支援、そして、沖縄コカ・コーラボトリングの社員の皆さんの、力強いボランティア活動に支えていただきながら、イヌマキたちを育てる活動をこれからも継続する必要があります。

大木にまで育った将来のイヌマキたちが、今の私たちの努力を見守っている、と思います。

首里城公園友の会 会長 高良 倉吉

## 県内清涼飲料業界、初の産業用コージェネレーション

当社では製造工程で大量のエネルギーを使うことから、省エネルギー化やCO<sub>2</sub>削減に向けて取り組んでいました。沖縄県内の限られた需要に対して、多品種・小ロット生産となっており、生産計画の変更によるエネルギーコストを抑える事に苦慮していました。その背景のなか、2017年に産業用コージェネレーションシステムを導入し、省エネ環境に配慮した取り組みを継続しています。

新たに2021年より無菌充填ラインの導入を行いました。製造システムの強化により県内製造を拡大する事で、県外からの仕入れを削減し、輸送時に使用するエネルギーから発生するCO<sub>2</sub>の削減に取り組んでいます。

### 工場廃熱再利用システム



### コージェネレーションシステム

## 沖縄初の「エレクトロビーム殺菌」「ペット容器工場内成形」

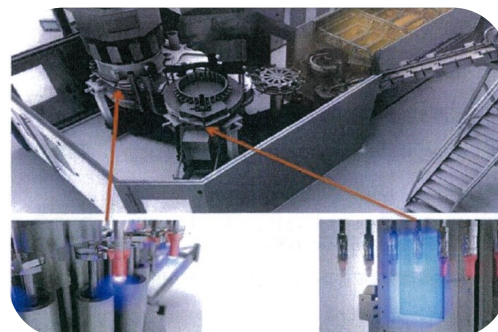
2021年3月に沖縄県内初となる、PETボトルのブロー成形機が稼働しました。これまで成形されたPETボトルの空容器を調達し、浦添工場で中味を充填し製造していました。ブロー機の導入により、体積の小さい容器の資材を調達することができ、輸送時のCO<sub>2</sub>の排出量の削減にもつながっています。

6月には、新たに無菌充填製造ラインが稼働し、これまで県外より仕入れていた一部の商品を、浦添工場で製造することが可能になりました。

また、製造工程の設備の一部に、日本初、エレクトロビーム殺菌(EB殺菌)を導入し、これまで容器の洗浄に使用していた水使用量の削減にも取り組んでいます。



ペットボトル ブロー成形ライン

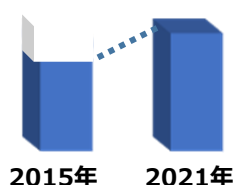


プリフォームの電子線殺菌

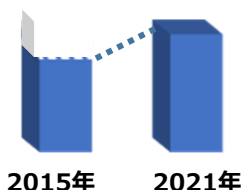
新設備の導入時のテスト運用などで例年以上に使用エネルギーが発生した為、それぞれ増加となった。今後、改善へ向けて取り組みを図っています。

※原単位、2015年対比へ変更

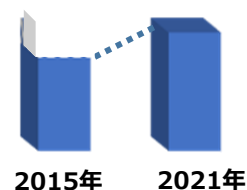
水使用効率  
20%増加



エネルギー効率  
43%増加



CO<sub>2</sub>排出削減効率  
33%増加



# 地域社会



## サステイナブルな地域社会づくりに貢献

### 環境・美化活動

プラスチックゴミの減少など環境保全を目的として、海岸清掃を通して啓発活動に取り組んでいます。



2021年11月 浦添西海岸清掃活動

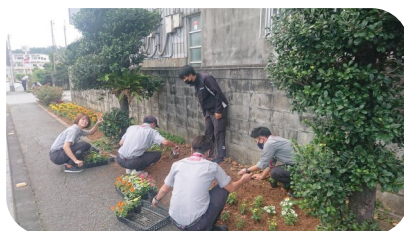


2022年4月 浦添西海岸清掃活動



### 全島緑化県民運動 ～「緑のボランティア」～

「緑のボランティア」活動とは、道路沿いの花壇を除草・清掃・花苗植え付け・管理を行ない、地域の美化・緑化の活動を行うものです。機器サービス部(南城市)は、「緑のボランティア」として、事務所沿の道路にて緑化活動をおこなっています。



緑のボランティアとして活動しています

# 社会貢献活動の支援

## 『 ネットワークを活かし、社会問題解決に貢献する 』

### ～ こども食堂へ製品寄贈 ～

自治体と地域が連携した運営の他、昨年より子どもの食事支援に取り組む『沖縄こども未来ランチサポート（琉球新報社・おとなワンサード・日本郵便沖縄支社）』が、県内企業への協力を呼びかけながら支援を行っています。

「こども食堂」への製品寄贈は、地域社会の課題に取り組む活動の一環として行っています。

「沖縄こども未来ランチサポート」を通して製品をお届けする他、当社の事業所のある浦添市、豊見城市、南城市、名護市、うるま市、中城村へ当社の部門関係者が直接訪問し、日頃のご愛顧への「感謝」と「地域支援」として、製品354ケース(8,496本)を寄贈いたしました。



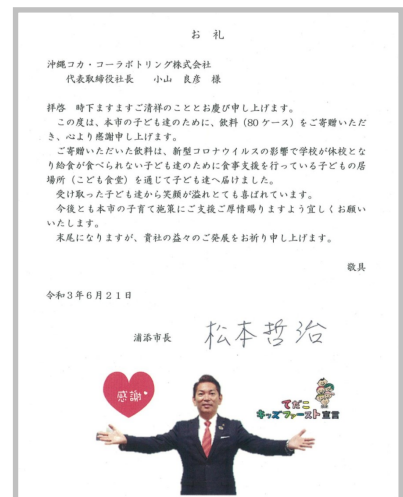
沖縄こども未来ランチサポート



2022年3月 浦添市役所にて



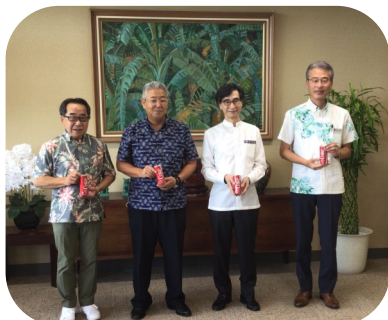
松本市長より心温まる  
 礼状をいただきました。



## 災害対応型 及び 地域貢献型自動販売機

震災や災害等によりライフラインが被害を受けた際、清涼飲料水を無償で提供できる『災害対応型自動販売機』および、さまざまな『地域貢献型自動販売機』を展開しています。

この活動は自動販売機の設置契約者の協力により、自動販売機で飲料を購入すると、売上金の一部が対象団体に寄付される仕組みとなっています。



沖縄健康医療推進基金は、令和6年度末を目途に琉球大学医学部・病院を西普天間住宅地区跡地へ移転し、より快適な診療環境をご提供し、教育・研究環境を充実させるため、沖縄健康医療推進基金を設立いたしました。

その際、当社、および琉仁カスタマーサービス社は、地域医療水準の向上のために、寄附型自動販売機を通して充実した医療運営を支援しています。



災害対応



サンゴ支援



子育て支援



見守り

支援機名称
ヤンバルクイナ保護活動
全肢連
メッシュサポート
本部町子ども子育てゆいまーる
ベトリボン基金
エイサー
日本赤十字
かりゆしFC
那覇地区防犯協会
沖縄県交通安全協会連合会
ピンクリボン
浦添市社会福祉協議会
フットサル
沖縄県腎臓病協議会
夢の貯金箱
JOCオリンピック
サンゴ
FC琉球
恩納村サンゴ
ちやたん海のライフセービングクラブ
39矢野基金
沖縄県聴覚障害児を持つ親の会
沖縄健康医療推進基金

2022年10月末現在



## 就労施設との業務提携による就労支援

就労支援事業所と契約を行い、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業の支援を行っています。



## 奨学支援事業による優秀な人材育成



### 4つの事業で未来に輝く人材をつくる。

次世代を担う人を作ること、それが私たちの取り組みです。たとえば世界を舞台に行き来とはばたく人、たとえば地域を愛し愛し元気にする人。きっと一人一人が、未来に輝く宝もの。私たちは日本中にこれからの可能性の種を蒔き、その芽を育てつづけます。アナタとはどこで出会えるだろう。私たちはコカ・コーラ教育・財団です。

### 環境教育事業

当事業の中心となる3つのテーマは、全国各地で展開されている地域における環境活動の顕彰、地域の廃校を生かした環境教育のモデル拠点作り、環境リーダーを育てる教育の支援です。これらを通じて、地域社会や国際的な課題にも応えることができる「心豊かでたくましい」人材育成をめざします。

### 奨学支援事業

1970年からは全国のポトラー各社と日本コカ・コーラが共同で、毎年全国から推薦された成績優秀な高校生に大学在学期間中、返済の義務がなく、将来の就職等についても義務が課せられない奨学金を授与しています。2022年3月末までに55年間で2,479名の卒業生を送り出しています。

### スポーツ教育事業

スポーツ教育事業では、子どもの基礎体力や運動能力の低下に対する取り組みとして、陸上400m走日本記録保持者・高野進先生の指導のもと、日本ランニング振興機構（JRPO）による「コカ・コーラ出前かけっこ教室」と「コカ・コーラかけっこクリニック」、「JRPOジュニアランニング指導員講習会」を実施しています。

### 災害復旧・復興支援

災害/震災/新型コロナウイルスなどにより被害を受けた地域社会に対し、地域のニーズに柔軟に対応した復旧・復興を支援。また、国際的なイベントの運営などで活躍する地域の青少年を育成すること、そして国際社会で活躍し、地域社会へ貢献する人材を育成することを目的とした、英語コミュニケーション研修プログラムを実施。

「公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団」の活動を通して沖縄から121人の卒業生を送り出されました。また、1973年より沖縄コカ・コーラ独自の支部採用枠を設け、奨学金支給を開始し2022年3月迄に116名の卒業生を送り出しました。



大学院生 本部採用  
谷川 友哉 さん

今回、コカ・コーラ教育・環境財団奨学生に選出していただき誠にありがとうございます。

私の家庭は母子家庭であり、母に私を支援する経済的余裕はないためアルバイトと奨学金で生活していました。大学院進学後も母の経済状況が改善する見込みがなく、学部時代同様にアルバイトと奨学金で生活する予定でした。しかし、アルバイトは研究と勉学の大きな妨げになることから、学部時代と同様の時間をアルバイトに使用することが出来ずに困っておりました。そんな折、貴財団の奨学金の採用通知が送られてきてとても励みになると同時に、より一層研究に従事することを決意いたしました。ありがとうございます。

私は大学院で電力系統の研究を行っております。沖縄県において再エネが大量導入された系統運用が可能になれば、沖縄から日本、そして世界へと持続可能な社会の実現へ大きく貢献できると考えております。大学院では学会発表や論文作成を通じて私の研究内容、研究成果を世界に公表します。



大学生 本部採用  
高村 ゆず子 さん

私の将来の目標は、人と生物と環境が多様性を維持する持続可能な社会づくりに貢献することである。そのために、これからの大学生活をたくさん挑戦して、そのためにたくさん失敗もするだろう…。これは、先月までの私の抱負だった。しかし、いまは少し違う。

なぜか。つい先日のごとであるが、私は自ら志願し、鳥取県地域教育推進局環境部の方と、真夜中にモリアオガエルの産卵を観察しに行った。その時、残念ながら私は、モリアオガエルの産卵を見ることができなかった。普通に考えたらそれはただの「失敗」である。

しかし、ぬかるんだ地面に長靴ギリギリまで足をつけることや、腰を限界までまげて写真を撮ること、先輩方の恐ろしいまでの観察眼は、その場に行かなければ、体験できなかったことだ。それを「失敗」と呼ぶだけでは、ものたりないと感じた。

「私は失敗したのではない。ただ一万通りの『うまくいかない方法』を発見したに過ぎないのだ」とトーマス・エジソンは言った。つまり、エジソンに言わせるならば、それは「発見」である。

その他にも、地域を借りて稲作にチャレンジする稲葉プロジェクト、初めての人間の文明活動である農作をする生山畑作会、子供たちが馬とふれあうことで自信と誇りをつくりだすハーモニーカレッジ、鳥取県生物学会の主催する大山自然観察会にチャレンジしている。それらは、目的からは、うまくいかないことであっても、得るものがあるだろう。

モリアオガエルから始まった大学生活は、まだまだスタート地点だ。私は、自分の目標のために、これからの大学生活で、たくさん挑戦しよう。そして、たくさんの「発見」をしていきたい。



大学生 本部採用  
パンキユビッチ アンジェリーナ さん

今回は沖縄コカコーラの奨学生として採用していただき、ありがとうございます。

私は幼少期から習い続けているクラシックバレエや高校になり活動を始めたヒップホップダンス、創作ダンスを活かして、将来は日常的に気軽に芸術舞台を鑑賞できるような機会を作り上げたいと考えています。

その為に、舞台を作りあげていく上で学ぶ必要性のある舞台上演法やダンスカレント等の専門科目を積極的に学びたいと思い、専門的に学習できる日本女子体育大学ダンス学科を志望しました。

環境問題と直接的に関係性のある大学、学科ではありませんが、舞台を通して多くの人々に環境問題について知ってもらえる事のできる場所作りをしたいと考えています。

ダンス芸術に限らず、幅広い分野での芸術舞台を通して環境問題について取り上げ、多くの人々に今の現状やこれから必要になってくる取り組み等について発信できるよう努めたいと考えています。



## 環境ボランティア活動の助成・支援を通じて環境教育を推進

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団（所在地：東京都港区、理事長：佐々木康行、以下当財団）は、環境保全・環境教育に関する顕著な活動への顕彰および環境保全・環境啓発・環境美化に寄与する新しい企画への支援をおこなう「第27回コカ・コーラ環境教育賞」の受賞団体を2月26日に決定し表彰を行いました。沖縄県教育委員会の後援を受け、財団沖縄支部より選抜致しました石垣市立崎枝中学校が優秀賞に選ばれました。

### 第27回 コカ・コーラ環境教育賞

#### 【活動普及部門(中学生) 優秀賞】 石垣市立崎枝中学校（石垣市）

石垣島の深刻な環境問題の一つに海への赤土の流出が挙げられる。赤土の流出は、サンゴなどの海洋生物を死滅させ、漁業や観光業にも影響を及ぼしている。このような状態を目の当たりにし、崎枝中学校では地域の河川調査を7年前から独自に実施してきた。

学校を中心に地域住民、自治体・行政・環境団体等と連携し、環境保全活動などの体験学習を行ない、地域の自然を知り、自然の恵みを上手に利用してきた先人の知恵を受け継ぐことで、地域への誇りを醸成し、自然環境の保全、地域の活性化につなげている取り組みが評価されました。



2022年4月 石垣市立崎枝中学校の校庭





## 地域を盛り上げる、主要製品および自動販売機

### 時代のニーズに合わせたラインナップ

県内で調達可能な原材料・資材は、県内企業より仕入れる事で、地産地消を目指し取り組んでいます。

**県内で販売される約7割の製品を沖縄の工場で作っています。**

新たな製品として、あらゆるシーンに美味しく頂ける軟水「ちゆるる500ml(ECOるボトル)」、アウトドアでの飲用シーンに合わせた「紅茶花伝950mlシリーズ(レモン、無糖)」, さらに新設備を導入した事で、家庭で定番の2Lペットボトルは“つぶしやすさ”と“注ぎやすさ”を両立させた「ペコらくボトル」へリニューアルしました。



コカ・コーラ シーサー缶  
(沖縄限定デザイン)

茶流彩彩  
さんびん茶

紅茶花伝ガーデン  
レモンティー

紅茶花伝ガーデン  
シークワーサーティー

ファンタ シークワーサー

紅茶花伝ガーデン  
無糖、レモンティー

軽くしぼって、  
コンパクト!



**ペコらくボトル**  
つぶしやすい、しかも、注ぎやすい。



沖縄コカ・コーラの  
Instagramでワ  
クワクワする写真が  
掲載されているよ!



ちゆるる



ボナクア



茶流彩彩  
さんびん茶



紅茶花伝ガーデン  
レモンティー



# 新しいライフスタイル、進化するアプリ

「Coke ON」は、アプリ内でスタンプを貯めてドリンクチケットを獲得できたり、健康をサポートしたり、おトクで便利なコカ・コーラの公式スマホアプリです。

- ① Coke ON対応自販機で購入するとスタンプがもらえます。そのスタンプを15個集めると、ドリンクチケットを獲得でき、Coke ON対応自販機ですべてのコカ・コーラ社製品と交換できます。
- ② 電子マネー“Suica”や“楽天Edy”などのお支払いでもポイントが貯まります。
- ③ “PayPay”や“auPay”“d払い”や、クレジットカード情報を登録する事でスマホのみで購入も可能です。
- ④ 健康的な習慣づくりをサポートする、「Coke ONウォーク」は歩くだけでスタンプがもらえます。
- ⑤ サブスクリプション「Coke ONパス」では月額2,700円で最大31本(1本当たり最大90円)で飲む事ができます。

現在、Coke ON稼働自動販売機は沖縄県内で**3,600台(2022年6月現在)**に達しています。



沖縄県では、2040年に平均寿命世界一を目標に掲げた「健康長寿おきなわ復活プロジェクト」を達成するため、県内で職域や地域において積極的に健康づくりに取り組んでいる団体を表彰し、その活動を広く紹介することにより、県内における健康づくり運動の展開と県民の健康づくり活動への関心をより一層高めることを目的として、平成28年度から沖縄県健康づくりの取り組みに対して「がんじゅうさびら表彰」を設立されました。

令和2年度健康づくり事業所部門にてサンワコムシスエンジニアリング(株)様が、健康活動のプログラムに「Coke ONウォーク」を盛り込み「グランプリ賞」を受賞しました！

## サンワコムシスエンジニアリング(株)様のコメント

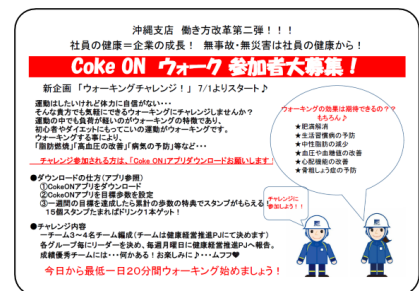
「健康活動のプログラム」Coke ONアプリも使用した健康維持活動で、「グランプリ」受賞後の現在も、社員半数以上の30名が活用しています。

社員の末永い健康を願って、活動のモチベーション維持・向上を目的として「ウォーキングチャレンジ」コンテストも行っています。

さらに「せっかくの活動を新たな形にしたい」「もっと社員の意識を高めモチベーションをアップしたい！」との事から、アプリで獲得した飲料と、社員の家庭の眠っている食品と合わせて「こども食堂」「フードバンクセカンドハーベスト沖縄」へ寄贈する活動へバージョンアップを行いました。

また、3年前から取り組んでいる「公園清掃」「緑化運動」「節電」など、他の地域貢献活動も含め、その事が認められ「おきなわSDGs普及パートナー」の認証も受ける事ができました。

SDGsに関連する活動は、社員の理解、モチベーションも高く、ぜひ、これからも活用し続けたいと思います。



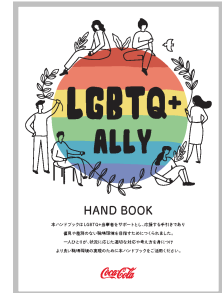
健康おきなわ21 ← 検索

# 多様性への取り組み

## ～同性婚への理解～

2021年5月に社内規程を変更し、多様化する現代への取り組みを全社共有し理解促進を図っています。合わせてLGBTQハンドブックも全社で共有し社内周知する事で理解促進を行っております。また当社ホームページでも一般公開も行っております。

配偶者の定義を追加（公的証明により対応）する事で、基本的な地位の保証に合わせて、育児・介護休暇の取得も可能となりました。



## ～女性活躍の推進～

3月8日の国際女性デーに、社長より全従業員に「誰もが生き生きと活躍できる職場」を願うメッセージと共に『バラ』がプレゼントされました。

グループ各社従業員の皆さんへ  
本日3月8日は、“国際女性デー”です。  
自分には関係ない、とは思わずに聞いて頂きたいと思います。  
当グループ全社は、男性、女性という性別、出身地、前職、グループ会社を超え、誰もが生き生きと活躍できる組織風土を醸成したいと強く願っています。  
社員の皆さん一人ひとりが主人公となり、会社の風土を変え、良い会社・強い会社・元気な会社へと進んでいきたいと思っています。  
共に一歩一歩、あゆみ出すキッカケとなる一日にしましょう。

Coca-Cola International Women's Day  
2022年3月8日 小山 良彦



# 働きがいのある会社(ワークライフバランス)

## ～働きやすい環境づくり～

- ハラスメント防止規程の新設 2022年 4月  
⇒ パワハラ、セクハラ、マタハラなどのハラスメント防止
- 在宅勤務規程の新設 2021年 10月  
⇒ 生活スタイルの変化に合わせて柔軟な働き方が可能になりました
- 半日有給休暇の取得回数制限解除 2021年 8月  
⇒ 取得回数を8回から残日数分の取得が可能となりました
- 沖縄県ワーク・ライフ・バランス認証 2016年 4月  
⇒ ワークライフバランスに取り組む企業として沖縄県より認証

**ハラスメントは許しません!**  
沖縄電力株式会社 代表取締役社長 小山 良彦  
職場におけるハラスメントは、従業員の健康を脅かすとともに、従業員の能力を削ぎ落とします。また職場環境も悪化し、会社にも大きな悪影響を及ぼす可能性があります。当社では「ハラスメントを許しません!」をモットーとして、ハラスメント防止に取り組んでいます。

**セクハラハラスメント**  
性別、年齢、婚姻状況、介護状況、ハラスメント  
就業上の地位や人間関係などの職場での地位を有利に、業務の遂行を阻害して、精神的・身体的被害を生じさせること。また、業務遂行を要しないことでの、身体的・精神的攻撃・差別的言動・差別的な要求・差別的な言動、等

**パワハラハラスメント**  
就業上の地位や人間関係などの職場での地位を有利に、業務の遂行を阻害して、精神的・身体的被害を生じさせること。また、業務遂行を要しないことでの、身体的・精神的攻撃・差別的言動・差別的な要求・差別的な言動、等

**ハラスメント防止規程の新設**  
2022年4月1日より、ハラスメント防止規程を新設しました。パワハラ、セクハラ、マタハラなどのハラスメント防止に努めます。

**ハラスメント防止規程の新設**  
2022年4月1日より、ハラスメント防止規程を新設しました。パワハラ、セクハラ、マタハラなどのハラスメント防止に努めます。

**ハラスメント防止規程の新設**  
2022年4月1日より、ハラスメント防止規程を新設しました。パワハラ、セクハラ、マタハラなどのハラスメント防止に努めます。

# 沖縄コカ・コーラ 構成

## 【営業所】

- ① 名護営業所 ☎0980-52-2255  
名護市大北1-23-35
- ② うるま営業所 ☎098-965-7000  
うるま市石川伊波1472
- ③ 豊見城営業所 ☎098-850-1029  
豊見城市字我那覇493
- ④ 中部営業所 ☎098-895-5191  
中城村字屋宜286
- ⑤ チェーンストア営業所 ☎098-944-2011  
浦添市伊祖5-14-1
- ⑥ 宮古営業所  
宮古島市平良字西里819-1
- ⑦ 久米島出張所  
島尻郡久米島町大田332-1

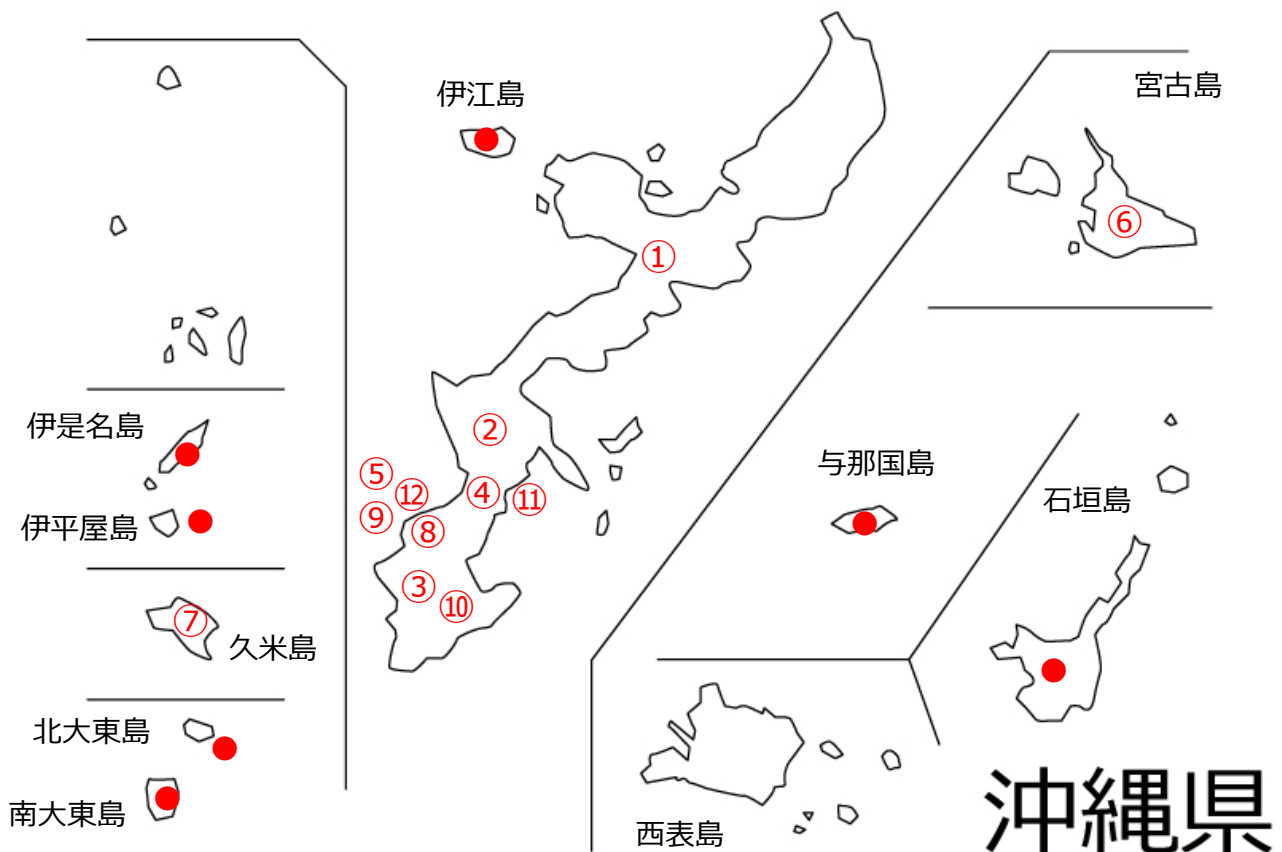
## 【事業所】

- ⑧ 本社 ☎098-877-5255  
浦添市伊祖5-14-1
- ⑨ 浦添工場 ☎098-877-5891  
浦添市伊祖5-14-1
- ⑩ 機器サービス部 ☎098-949-7882  
南城市玉城字愛地727

## 【グループ会社】

- ⑪ (株)琉仁カスタマーサービス ☎098-895-6045  
中城村字屋宜286
- ⑫ R E X(株) ☎098-942-7020  
浦添市伊祖5-14-1

※その他は代理店営業となります。



## 会社概要

社名	沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 Okinawa Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.
設立	昭和43年2月22日
所在地	〒901-2555 沖縄県浦添市伊祖五丁目14番1号 TEL : 098-877-5255(代表) FAX : 098-879-4527
資本金	1億円
決算期	12月
販売地域	沖縄県
事業内容	清涼飲料水の製造販売
関係会社	株式会社 丸仁ホールディングス 株式会社 琉仁カスタマーサービス R E X 株式会社
	●お問い合わせ コールセンター (月～金 : 9 : 00～18 : 00) 代表問合せ : ☎ 098-877-5255 注文受付 : ☎ 098-879-7172 修理受付 : ☎ 098-879-9781 <a href="https://www.okinawa.ccbc.co.jp">https://www.okinawa.ccbc.co.jp</a>

## 役員体制

### 役員（令和4年4月現在）

代表取締役社長	小山 良彦
常務取締役	新井 英寿
取締役	嘉陽 功
取締役相談役	高梨 圭二
監査役	田中 行雄

### 執行役員

常務執行役員	水野 竜太
執行役員	加島 純
執行役員	新垣 勇
執行役員	鮎澤 和夫
執行役員	田所 聖司

## グループ会社 概要および役員体制

社名 株式会社琉仁カスタマーサービス

設立 昭和58年

所在地 〒901-2405

沖縄県中城村字屋宜286

TEL : 098-895-6045

FAX : 098-895-6046

代表取締役社長	小山 良彦
取締役副社長	嘉陽 功
取締役	新井 英寿
取締役	鮎澤 和夫
監査役	田中 行雄

社名 REX株式会社

設立 平成18年

所在地 〒901-2132

沖縄県浦添市伊祖五丁目14番1号

TEL : 098-942-7020

FAX : 098-942-7021

代表取締役社長	小山 良彦
取締役副社長	嘉陽 功
取締役	水野 竜太
取締役	田所 聖司
監査役	田中 行雄

## グループ会社紹介

# 株式会社 琉仁カスタマーサービス

**自動販売機 総合オペレーター企業を目指して！**  
(人に優しく、環境に優しく、地域と共に)

琉仁カスタマーサービスでは、お客様の各種自動販売機を一括管理をさせていただくことで、管理業務を効率化し、質の高いサービスと豊富な品揃えの商品をご提供することが出来ます。

台数を集約する事により、電気使用量が軽減され電気代の節約ができます。

仮に節約した電気代金を福利厚生などに活用する事で、働きやすい環境作りに繋がります。

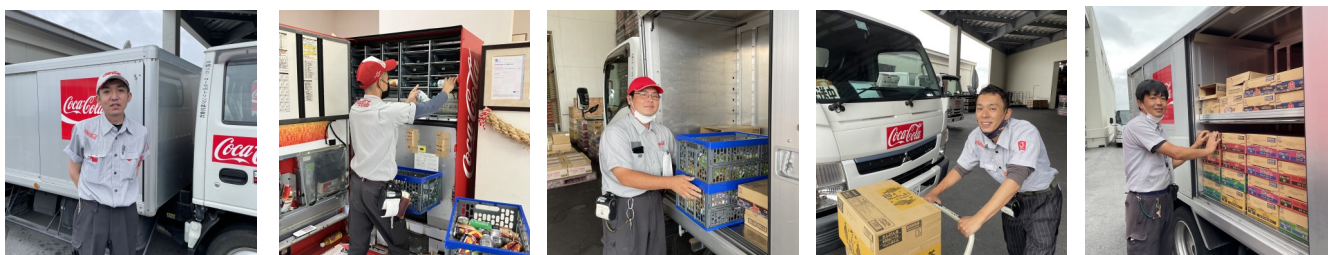


- ① コカ・コーラを中心に**他社の売れ筋商品**も買える自動販売機を取り揃えています。
- ② 自動販売機の**電気代抑制**ができるタイプをご提案します。
- ③ 自販機の**事務作業の軽減**、**出入り業者を絞れる事**で、**セキュリティの強化**ができます。

## REX 株式会社

**信頼される、自動販売機オペレーター企業を目指して！**

沖縄コカ・コーラグループの一員として、自動販売機のオペレーション業務を通して、高い品質で効率的且つ、安定的な業務を行い、信頼される企業を目指します。





今後の企業活動やレポートづくりの参考とさせていただくため、本レポートへのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

---

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社（コカ・コーラ指定会社） 人事総務部 CSR推進課

〒901-2555 沖縄県浦添市伊祖五丁目14番1号

TEL. 098-877-5269 FAX. 098-877-5340

<https://www.okinawa.ccbc.co.jp/>

---